

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）

分担研究報告書

高精度放射線治療システムの国際比較に関する研究

研究分担者 宇野 隆 千葉大学大学院医学研究院 教授

研究要旨

高精度放射線治療に特化した全国レベルの診療実態調査を効率的に行うため、疾患横断的な共通の調査項目、対象疾患ごとの調査項目について策定した。研究班長による高精度放射線治療実施施設に対するWebアンケート結果を解析し、訪問調査施設を選定し調査を開始した。

A．研究目的

従来の診療実態調査研究では、放射線治療分野の全国レベルの構造調査を幅広く行い、同時にアウトカムデータの取得を行ってきた。本研究では近年著しく進歩しつつある高精度放射線治療に特化して全国レベルの診療実態調査をより効率的に行う。

B．研究方法

全国の高精度放射線治療実施施設に対する Web アンケート結果を解析し、その結果の解析を行った。高精度放射線治療に即した実用的かつ発展性のある調査を遂行するため、疾患横断的な共通の調査項目、対象疾患ごとの調査項目について策定し、実態調査を開始した。

（倫理面への配慮）

想定される個人情報保護への対応として、本研究班における個人情報保護規約の策定とその遵守の重要性を確認。

C．研究結果

Webアンケート結果の解析に基づいて訪問調査によるデータ取得項目を作成し、

Webアンケートと連動することで効率的な訪問調査体制を構築し、調査を開始した。

D．考察

策定されたWebアンケート項目は高精度放射線治療の診療実態の把握に必要な不可欠な項目を含む。医学物理士との連携により短期間で効率的な高精度放射線治療に特化した全国レベルの訪問調査を可能とするものである。調査結果の解析に着手した。

E．結論

本年度の研究では高精度放射線治療に特化して全国レベルの診療実態調査を効率的に行う体制を確立した。

F．研究発表

1. 論文発表

Isohashi F, Ogawa K, Uno T, Japanese Radiation Oncology study Group (JROSG). Patterns of radiotherapy practice for biliary tract cancer in Japan: results of the Japanese radiation oncology study group

(JROSG) survey. Radiat Oncol.
2013;8:76.

2. 学会発表

Uno T, Watanabe-Nemoto M, Harada R, et al. Failure pattern in patients with intermediate to high risk cervical cancer treated with postoperative chemoradiation using CT-based target delineation. ASTRO 55th Annual Meeting, Atlanta, 2013.

G . 知的財産権の出願・登録状況

なし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし